



夜な夜な短歌コミュ 1周年記念歌集

桜

【夜な夜な】

夜々。夜ごと。宵々。宵ごと。

【桜】

バラ科サクラ属の落葉高木または低木の一部の総称

(広辞苑 第六版より)

散りゆくを知りつつも咲く強さ秘め千歳かさねた薄紅の色

(SRT)

軽やかに 開花し昇る 前線よ わたしの心 置き去りにして

(SRT) 読メ宮城支部【夜な短会員】

春近しざわめく心知らずして咲いた桜は淡く儂し

(ハリー)

散り急ぐ 花と知りつつ 咲くを待つ 命の賛歌を 歌う桜よ

(wildchild) 春待鳥

仰ぎ見る娘の頬がほんのりと桜に染まり春を知らせる

(雪)

春の声風に吹かれて届いたよ 桜舞い散る卯月の調べ

(メルクリン)

桜色の ミラクの香りに つつまれて 叶わぬ願いに 涙す我が身

(Yuna Ioki)

手のひらに落ちた花びらやわらかな撫でて想うは君肌のぬくもり

(masa)

吹き散らせ 揺れる花卉の 胸に抱く 逢うも別るも 笑みも涙も

(ポポロ)

花曇り花冷え花風花嵐耐えて花咲くあなたは光

(kaze 「みちくさ」)

だんだんと吹奏楽の音ふくらんで門に近づく肩に花びら

(June)

桃色のギザギザフレーム青空のようにピーカン笑顔が行くよ

(七色一味)

青空に腕差し伸ばす桜なら憧れの意味きつと知るはず

(新地学)

足早に咲き誇る君眩しくて見つめし我を今は追い越す

(ちくわ村長)



薄紅が揺れる散歩のさやかなる手袋外して君の名遊び

美しき 衣無くても 気品ある 貴方の姿 心惹かれる

春風に右に左に心揺れ 桜のせいで2割増かも

君と呼ぶ言葉の裏に散り積もる別れ桜の残り香の夜

北国の 春は遅くて 雪の舞い 桜吹雪の 香りちらして

満開の桜みるたび思い出す 君と一緒にみたかったなと

裸木をしっかりと濡らす催花雨は枝にほんのり薄紅をさす



かぎろひの春のことぶれ花ぐはし桜の花のふみてありけり

(ダイキ)

はじめのお外あんよを満開の桜見守る 桜と見守る

(れいぼ)

すりすりと子猫が懐く木の幹の上では桜ふわりほほえむ

(まきん)

氷結す雲の欠片のごとき花留めて宙に永遠の一瞬

(tsu Suenaga)

桜餅草餅桜アンパンもみな食べてやる早よ春よ来い

(日野成美)

はらはらと 舞い散る桜 薄紅の あの春の日に 我を連れゆけ

(かのん)

場所取りで退屈そうなああのひとのうえにもちょうど七分の桜

(しゅがあ)



美しく花咲く事は無いけれど あなたのそばにいようと思う

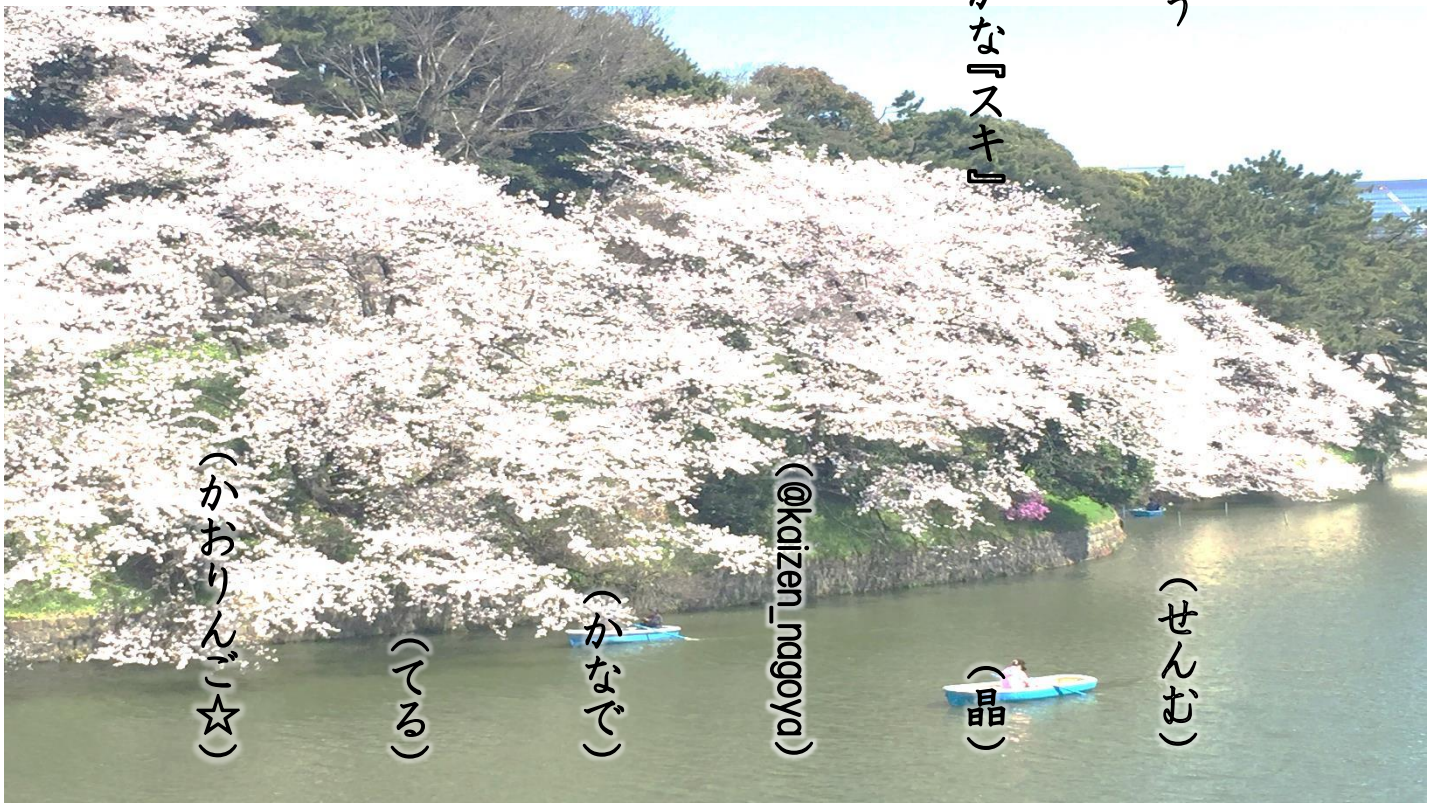
水たまりに浮く花びらで文字を書く散った後なおあざやかな『スキ』

噴水塔桜の後の写生会躑躅の前で花より弁当

春が来る桜は全て受け入れてやがて散りゆく運命と知る

偶然に触れる肩先あたたかくあの花びらが落ちるつかの間

スキなもの 長命寺より道明寺、ビール、えだ豆、君の囁き



(せんむ)

(晶)

(@kaizen_nagoya)

(かなで)

(てる)

(かおりん☆)

春の死につつまれたままぼくたちは約束のない約束をする

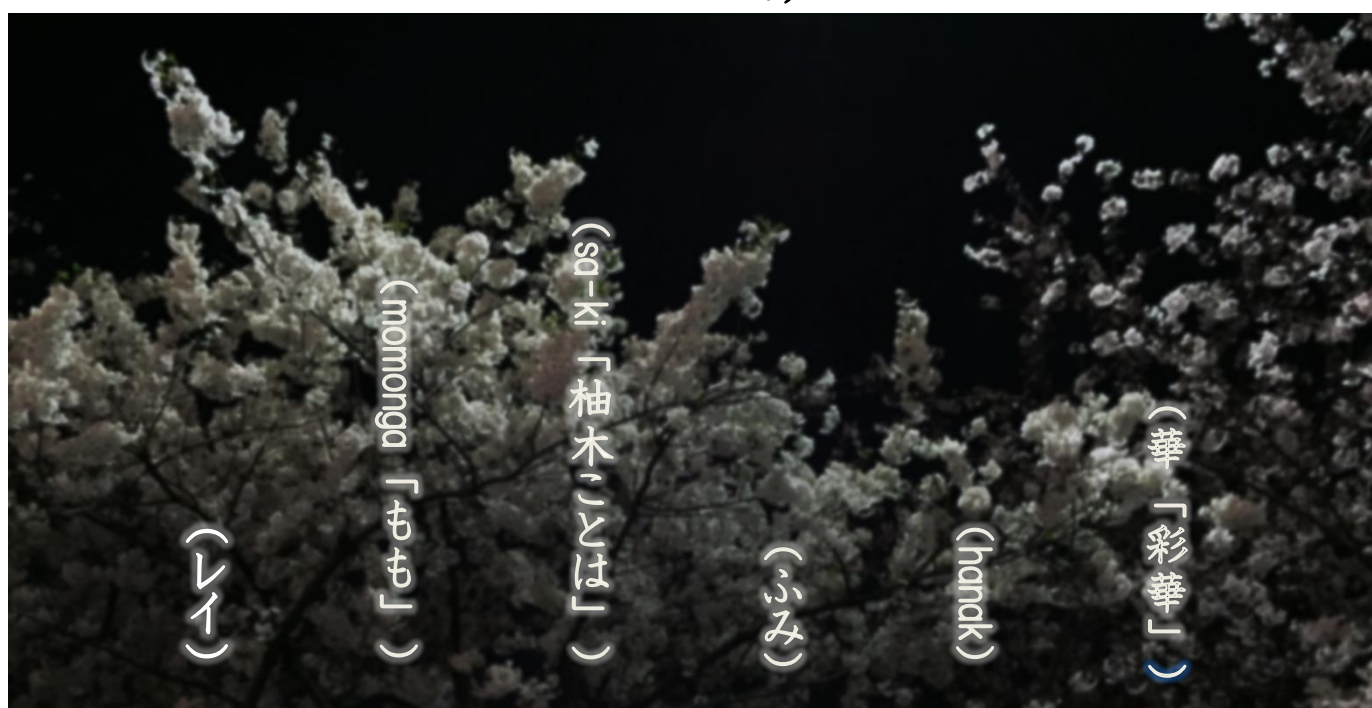
宵の月より見下ろさばこのくにはさくらの色に淡く浮かびぬ

ひとひとり 訪れることない夜に ひっそり芽吹く木々のふくらみ

月影が照らすさくらの花絨毯ハイヒール脱ぎはだしで駆ける

ほの白い開襟シャツに舞い込んだ花びらが指を免費にする

組み敷いたきみのふるえる肩先にふわりひとひら我にかえった



(華「彩華」)

(hanak)

(ふみ)

(さく「柚木ことは」)

(momonga「もも」)

(レイ)

もう死んでしまった人の自撮り画がさくららの写真のフォルダにあった

(いしゃどう「伊舎堂 仁」)

場所取りのブルーシートに突っ伏して桜に飽きてきたの誤魔化す

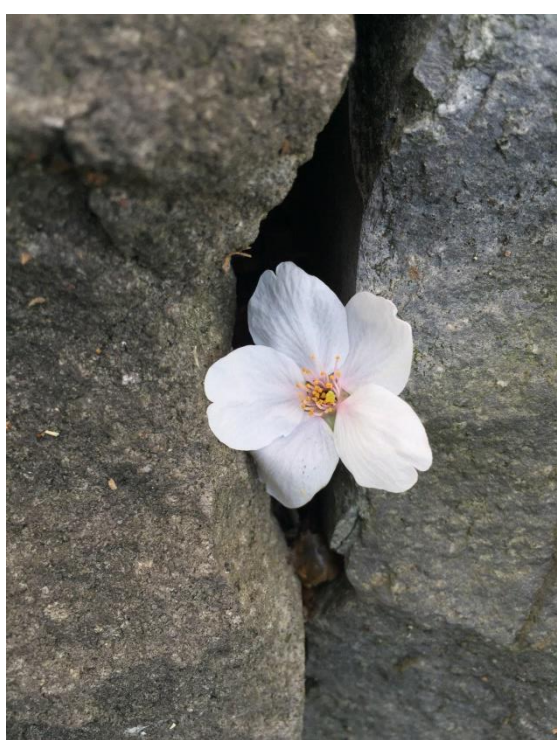
(ちゃありい「小坂井大輔」)

お花見の幹事の顔が分からずに放送されるも辿り着けない

(さくら)

クレバスで首を縮めて時を待ち途方にくれる葉桜のころ

(Sage「太田青磁」)



詠み人

【2】

seri
an@読メ宮城支部【夜な短会員】
ハリー
wildchild@春待鳥
雪
メルクリン
Yuna loki

【3】

masa
ホボロ
kaze(みちくさ)
June
七色一味
新地学
ちくわ村長

【4】

洒涙雨
カイコ
yamaneko*
おひゃんりのナオ
きん@SR道東民
のぶぶん@青春菌絶賛感染中
nonたん(三次則秋)

【5】

ダイキ
れいぼ
まきり.M
Itsu Suenaga
日野成美
かのん
しゅがぁ

【6】

@kaizen_nagoya
晶
てる
せんむ
かおりん☆
かなで

【7】

華(彩華)
hanak
ふみ
sa-ki(柚木)は
momonga(まも)
レイ

【8】

いしやどう(伊舎堂 仁)
ちやありい(小坂井大輔)
ちん
Sage(太田青磁)

以上44名



夜な夜な短歌コミュについて

『夜な夜な短歌コミュ』とは、読書メーターにあるコミュニティです。短歌が好き、短歌を詠みたいというメンバーが集まって日々交流をしています。みなさんも良かったら一緒に短歌を作ってみませんか？コミュはこちらになります。

[*夜な夜な短歌コミュをみる](#)

編集後記

桜に誘われるように始まった夜な夜な短歌コミュが1周年を迎えるにあたり、みんなで歌を詠むとしたら…「桜」しかないでしょう！と企画しました。

コミュのメンバーから寄せられた思いのこもった様々な桜。お楽しみいただけたとうれしいです。

お手伝いしてくれた masa さん、華さん、レイさんに感謝します。

企画・写真・編集 momonga(もも)



※ 当歌集に掲載されている文章・画像等の無断転載はご遠慮下さい。 使用する際は、事前に確認していただくようお願いいたします。

※ 読書メーターでの歌集の紹介、レビューでの紹介は大歓迎です。